

委員 井上隆司、尾野恭一、○久保義弘、鍋倉淳一、矢田俊彦、柚崎通介

報告事項 今期、下記の活動を行った。

1. 鹿児島大会での KOJACH シンポジウムについて

(1) KOJACH シンポジウムの日韓、日中、両シンポへの発展的変更について

前回の委員会報告でも記したが、念のため、再記する。

これまで、PSJ 大会において、毎年、韓国生理学会 (KPS) および中国生理学会 (CAPS) と3国で、KOJACH シンポジウムを実施してきた。今回、韓国生理学会 (KPS) からの申し入れを受け、中国生理学会 (CAPS) とも相談を行い、両者の合意を得て、今後、KOJACH シンポジウムを、発展的に解消し、KPS-PSJ シンポジウム、CAPS-PSJ シンポジウムのふたつに分けて実施することにした。

どちらも、毎年1人ずつ講演者を招いて実施する(全体で毎年2人)ため、(KPS, CAPS から1人ずつ計2名を招待していた)KOJACH シンポジウムと、予算規模に変更はない。経費は、これまでの KOJACH シンポジウムの予算を充てて実施する。鍋倉 FAOPS2019 組織委員会委員長の要請により、上記両シンポジウムに、-- Towards FAOPS2019 という副題を付記する。

(2) CAPS-PSJ シンポジウムについて

鹿児島大会において、大会1日目の3月16日に、下記のシンポジウムを実施する。PSJからの招待講演者1名に加え2名が来日する。中国から来日するための visa 取得時に求められる書類の作成を行った。

CAPS-PSJ Symposium -- towards FAOPS 2019 and IUPS 2021

”Metabolic regulation of renal physiology and pathophysiology”

Chairs: Prof Youfei Guan & Prof Yoshinori Marunaka

Speakers:

Prof Youfei Guan (Shenzhen University) 招待講演者

Prof Tianxin Yang (Sun Yat-sen University)

Prof Xiongzong Run (Chongqing Medical University)

Prof Yoshinori Marunaka (Kyoto Prefectural University of Medicine)

(2) KPS-PSJ シンポジウムについて

鹿児島大会において、大会3日目の3月18日に、下記のシンポジウムを実施する。

KPS-PSJ Symposium -- towards FAOPS2019

”Mechanosensitive regulation of biological functions: update”

Chairs: Prof Ryuji Inoue & Prof Sung Joon Kim

Speakers:

Prof Sung Joon Kim (Seoul National University) 招待講演者

Dr Gentaro Iribe (Okayama University)

Dr Hiroshi Mihara (Toyama University)

Prof Ryuji Inoue (Fukuoka University)

2. オーストラリア生理学会 (AuPS) 大会へのシンポジウムの提案について

AuPS 会長の Allen 教授から、栗原 PSJ 理事長に対し、AuPS 大会 (2014 年 11 月 30 日- 12 月 3 日、ブリスベン) におけるシンポジウム 1 件の提案の要請があった。PSJ 会員に、メールと HP 上の掲示により、提案を募集したところ、下記 1 件のみの応募があった。国際交流委員会の審議を経て、この課題をオーストラリア生理学会に提案した。1 月 28 日に採択決定の連絡があった。シンポジウム 1 件に対して、2,000 ドルのサポートを与えるとのことである。

Title: Frontiers of molecular mechanisms of ligand recognition and activation of receptor channels

Chairs: Dr. Yoshihiro Kubo, Dr. Trevor Lewis

Speakers

Dr. Trevor Lewis (Univ New South Wales, School of Med Sci)

Dr. Brett Cromer (Health Innovations Res Inst, RMIT)

Dr. Yoshiro Sohma (Keio Univ School of Med)

Dr. Yoshihiro Kubo (Natl Inst Physiol Sci)

3. スカンジナビア生理学会 (SPS) 大会へのシンポジウムの提案について

SPS 会長の Arner 教授から PSJ に対し、SPS 大会 (2014 年 8 月 22 日-24 日、ストックホルム) におけるシンポジウム 1 件の提案の要請があった。PSJ 会員に、メールと HP 上の掲示により提案を募集したところ、1 件のみの応募があった。国際交流委員会の審議を経て、この課題を SPS に提案した。1 月 14 日に、メールにて、採択する向きで最終中で 4 人目のスピーカーの選考を行っているとの連絡が届いた。SPS よりの旅費支援は無い。

PSJ-SPS symposium

“Novel perspectives of research on transmembrane proteins

-- molecular mechanisms and physiological roles”

Speakers

Prof Yoshihiro Kubo (Natl Inst Physiol Sci)

Prof Fusao Kato (Jikei Univ School of Med)

Prof Bryndis Birnir (Uppsala Univ, Sweden) (tentative)

To be named (SPS side)

4. FAOPS Congress 2015 (タイ) へのシンポジウムの提案について

FAOPS Congress 2015 のローカル組織委員会委員長 Pholpramool 教授から PSJ に対し、FAOPS Congress 2015 (タイ) におけるシンポジウムの提案の要請があった。1 件もしくは 2 件が採択される見込みである。PSJ 会員に、メールと HP 上の掲示により、提案を募集したところ、3 件の応募があった。国際交流委員会にて、FAOPS2019 組織委員会の意向を踏まえて審議し、以下の 2 件を、優先順位を付けずに推薦した。採否に関する連絡を待っている。なお、推薦を見送った 1 件は、FAOPS2019 組織委員会長の鍋倉教授によるもので、これは、後に、別枠として提案することも可能と考えている。

(2 件、順不同)

Title: Organ homeostasis and thyroid hormone action.

Organizer: Dr. Noriyuki Koibuchi

Speakers:

Dr. Paul M. Yen (Duke-NUS Graduate Medical School, Singapore)

Dr. Medan M Godbole (Gandhi Postgraduate Institute of Medical Sciences, India)

Dr. Noriyuki Koibuchi, (Gunma University Graduate School of Med, Japan)

Title: New Mechanisms and New Roles in the Locus Coeruleus

Organizers: Dr. Fusao Kato and Saeed Semnanian

Speakers:

Dr. Min Ming-Yuan (National Taiwan Univ, China (Taiwan))

Dr. Saeed Semnanian, (Tarbiat Modares Univ, Iran)

Dr. Fusao Kato (Jikei University School of Med, Japan)

5. 中国生理学会大会へのシンポジウムの提案について

中国生理学会 国際交流担当の Chan YS 教授からの私信にて、2014 年 10 月 24 日-27 日に上海にて中国生理学会が開催されること、PSJ にシンポジウム提案を求める可能性があることについて、連絡があった。正式な提案依頼が届き次第、アクションする。

6. 第 92 回生理学会・解剖学会・合同大会における国際交流関連シンポジウムの企画について

大会長岡村康司教授、プログラム委員長前田正信教授より、第 92 回の解剖学会との合同大会における国際交流関連シンポジウムの企画を依頼された。CAPS-PSJ, KPS-PSJ を軸に、解剖学会の担当者とは相談を進めて、企画を行う予定である。

常任幹事会への提案(議事として諮りたいことをお書き下さい)

無し。